

比較文学者・作家の小谷野敦が、人文系教養塾を主宰します

# 2010 塾生募集

# 猫猫塾

・「文学」講座  
・「世間学」講座  
・「英語」講座

- ・十八歳以上で向学心旺盛な方なら、どなたでも受講できます
- ・受講には事前のお申込を。  
単回ごと／半年連続／年間連続で受講できます
- ・受講費は1回あたり1000円～2000円

日時

## ■学期制

- ・夏学期:2010年4月～7月
- ・冬学期:2010年10月～2011年2月

■木曜日の夜間・土曜日の午後が開講

場所

メイン会場は「浜田山会館」  
「京王井の頭線・浜田山駅」徒歩5分  
(東京都杉並区)

# 猫猫塾の趣旨

猫猫塾は、比較文学者・作家の小谷野敦が二〇〇九年に開校した、人文系の教養塾です。講義を中心とする三講座に加え、個別指導も行っています。

文学や歴史に関心のある、大学生・大学院生  
 社会人・主婦・定年退職後の方などの  
 ご参加をお待ちしています。

# プログラム

## ◆ 講座 全3講座（年間28回シリーズ）

### ●A:「世間学」講座 木曜日18:30-20:10

学校では教えてくれないことというのがある。たとえば、いじめへの対処とか、この世で生きる手法といったものだ。生きる技術をここでは教えたい。

### ●B:「文学」講座 土曜日13:30-14:40

今年度は、大江健三郎、中上健次、村上春樹など戦後日本文学の代表的作家のテキストを講読します。

### ●C:「英語」講座 土曜日14:50-16:00

アメリカ文学の原典講読として、以下のテキストを予定していますが、受講者の希望に応じて他のテキストも検討し、決定します。  
 （講義の性格上、半年/通年の受講を強く推奨します）

- アースキン・コールドウェル「インディアン・サマー」
- イーディス・ウォートン「ローマ熱」
- ジョイス・キャロル・オーツ「小さな雪崩」
- ヘミングウェイ「北ミシガンにて」
- ジョン・チャーヴァー「泳ぐひと」

## ◆ 個別指導

あなたの学習や研究を個別に指導します。  
 研究論文の執筆や、大学院入試対策などにご活用下さい。  
 面談・郵送・Eメール・スカイプ・電話等を通じて指導。詳細はご相談で。

# 参加費

- 受講方法には、「単回」・「半年」(全14回)・「通年」(全28回)の3種類があります。また、これらを複数組み合わせる受講も可能です。(ただし、個別指導には単回受講はありません)
- 参加費には、「一般」と「学生」の区分があります。学生参加費は、4年制大学・大学院・短期大学・各種専門学校に在籍する全ての方に適用されます。

## 講座

	一般	学生
単回	1回・・・ ¥2,000	1回・・・ ¥1,500
半年	全14回・・・ ¥23,800 (参考)1回あたり¥1,700	全14回・・・ ¥16,800 (参考)1回あたり¥1,200
通年	全28回・・・ ¥42,000 (参考)1回あたり¥1,500	全28回・・・ ¥28,000 (参考)1回あたり¥1,000

## 個別指導のみ

	一般	学生
半年	¥4,000	¥3,000
通年	¥6,000	¥4,000

- 個別指導のみの場合の金額です
- 上記講座の「半年」を受講した場合は半年分の個別指導が、通年を受講した場合は1年分の個別指導が無料になります

**A: 世間学**  
木曜日 18:30-20:10

第1講	2010年4月15日 裁判の仕組み(1) -内容証明が来て慌てない
第2講	2010年4月22日 裁判の仕組み(2) -内容証明が来て慌てない
第3講	2010年5月6日 裁判の仕組み(3) -内容証明が来て慌てない
第4講	2010年5月13日 地政学入門(1) -なぜ米国に頼る必要があるのか
第5講	2010年5月20日 地政学入門(2) -ディエゴガルシア島を知っていますか
第6講	2010年5月27日 地政学入門(3) -なぜアフガニスタンが戦場になるのか
第7講	2010年6月3日 地政学入門(4)
第8講	2010年6月10日 宗教論(1) -宗教とは何か
第9講	2010年6月17日 宗教論(2) -人はなぜ宗教を必要とするのか
第10講	2010年6月24日 宗教論(3) -死の恐怖
第11講	2010年7月1日 宗教論(4)
第12講	2010年7月8日 いじめについて(1) -いじめは大人の世界にもある
第13講	2010年7月22日 いじめについて(2) -どういじめに対処するか
第14講	2010年7月29日 いじめについて(3)

第15講	2010年10月14日 社会主義とは何か(1)
第16講	2010年10月21日 社会主義とは何か(2) -貧富の差はなくせるのか
第17講	2010年10月28日 社会主義とは何か(3)
第18講	2010年11月4日 社会主義とは何か(4)
第19講	2010年11月11日 結婚とは何か(1) -夫一婦制とは
第20講	2010年11月18日 結婚とは何か(2)
第21講	2010年11月25日 結婚とは何か(3)
第22講	2010年12月2日 民主主義とは何か(1)
第23講	2010年12月9日 民主主義とは何か(2)
第24講	2010年12月16日 民主主義とは何か(3)
第25講	2010年1月13日 言葉とは何か(1)
第26講	2010年1月20日 言葉とは何か(2)
第27講	2010年1月27日 言葉とは何か(3)
第28講	2010年2月3日 ※内容未定

**B: 文学**  
土曜日 13:30-14:40

第1講	2010年4月17日 大江健三郎『死者の奢り』
第2講	2010年4月24日 大江健三郎『個人的な体験』
第3講	2010年5月8日 大江健三郎『万延元年のフットボール』
第4講	2010年5月15日 大岡昇平『俘虜記』(1)
第5講	2010年5月22日 大岡昇平『俘虜記』(2)
第6講	2010年5月29日 ※内容未定
第7講	2010年6月5日 ※内容未定
第8講	2010年6月12日 島尾敏雄『死の刺』(1)
第9講	2010年6月19日 島尾敏雄『死の刺』(2)
第10講	2010年6月26日 川端康成『眠れる美女』(1)
第11講	2010年7月3日 川端康成『眠れる美女』(2)
第12講	2010年7月10日 川端康成『山の音』(1)
第13講	2010年7月24日 川端康成『山の音』(2)
第14講	2010年7月31日 ※内容未定

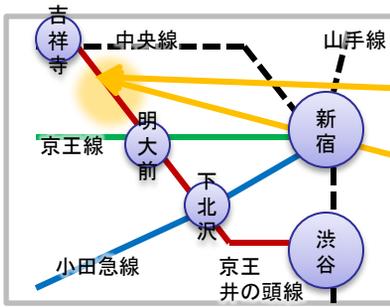
第15講	2010年10月16日 柴田翔『されどわれらが日々』(1)
第16講	2010年10月23日 柴田翔『されどわれらが日々』(2)
第17講	2010年10月30日 村上春樹『ノルウェイの森』
第18講	2010年11月6日 村上春樹『世界の終りと ハードボイルド・ワンダーランド』(1)
第19講	2010年11月13日 村上春樹『世界の終りと ハードボイルド・ワンダーランド』(2)
第20講	2010年11月20日 村上龍『コインロッカー・ベイビーズ』(1)
第21講	2010年11月27日 村上龍『コインロッカー・ベイビーズ』(2)
第22講	2010年12月4日 中上健次『枯木灘』(1)
第23講	2010年12月11日 中上健次『枯木灘』(2)
第24講	2010年12月18日 中上健次『千年の愉楽』(1)
第25講	2010年1月15日 中上健次『千年の愉楽』(2)
第26講	2010年1月22日 大江健三郎『取り替え子』(1)
第27講	2010年1月29日 大江健三郎『取り替え子』(2)
第28講	2010年2月5日 ※内容未定

**C: 英語**  
土曜日 14:50-16:00

第1講	2010年4月17日 英米短編小説講読(1)
第2講	2010年4月24日 英米短編小説講読(2)
第3講	2010年5月8日 英米短編小説講読(3)
第4講	2010年5月15日 英米短編小説講読(4)
第5講	2010年5月22日 英米短編小説講読(5)
第6講	2010年5月29日 英米短編小説講読(6)
第7講	2010年6月5日 英米短編小説講読(7)
第8講	2010年6月12日 英米短編小説講読(8)
第9講	2010年6月19日 英米短編小説講読(9)
第10講	2010年6月26日 英米短編小説講読(10)
第11講	2010年7月3日 英米短編小説講読(11)
第12講	2010年7月10日 英米短編小説講読(12)
第13講	2010年7月24日 英米短編小説講読(13)
第14講	2010年7月31日 英米短編小説講読(14)

第15講	2010年10月16日 英米短編小説講読(15)
第16講	2010年10月23日 英米短編小説講読(16)
第17講	2010年10月30日 英米短編小説講読(17)
第18講	2010年11月6日 英米短編小説講読(18)
第19講	2010年11月13日 英米短編小説講読(19)
第20講	2010年11月20日 英米短編小説講読(20)
第21講	2010年11月27日 英米短編小説講読(21)
第22講	2010年12月4日 英米短編小説講読(22)
第23講	2010年12月11日 英米短編小説講読(23)
第24講	2010年12月18日 英米短編小説講読(24)
第25講	2010年1月15日 英米短編小説講読(25)
第26講	2010年1月22日 英米短編小説講読(26)
第27講	2010年1月29日 英米短編小説講読(27)
第28講	2010年2月5日 英米短編小説講読(28)

## 会場



以下の2ヶ所を予定しています。

・**メイン会場：浜田山会館**

京王井の頭線・浜田山駅より徒歩5分  
(東京都杉並区浜田山1-36-3)

・**サブ会場：永福和泉地区区民センター**

京王井の頭線・永福町駅より徒歩5分  
(東京都杉並区和泉3-8-18)

(会場は決定次第、猫猫塾公式ウェブサイト等でお知らせします)

## お問い合わせ

最新情報と詳細は、猫猫塾公式ウェブサイト

<http://homepage2.nifty.com/akoyano/juku/> に随時掲載されています。

お問い合わせ・お申し込みは、

メール・ファックス・郵便・もしくは電話にて受け付けています。

・メールアドレス：[inquiries.for.nekoneko@gmail.com](mailto:inquiries.for.nekoneko@gmail.com)

・電話／ファックス番号：03-3318-5503

・郵送宛先：  
〒168-0065東京都杉並区4-30-10コルティール浜田山104  
小谷野敦「猫猫塾」運営事務局

## メディア掲載

猫猫塾の活動は、新聞・雑誌等でも取り上げられています。

- ・「私塾ならではの 型破りな講義」『日経新聞』2009年12月7日(夕刊)
- ・山川徹「学びへの入口は、すぐ近くにある」『望星』2009年5月号、東海教育研究所

# 小谷野敦

## KOYANO Ton

1962年、茨城県に生まれる。本名は敦(あつし)。1987年、東京大学文学部英文科卒業。

1990~92年、カナダのプリティッシュ・コロンビア大学に留学。

1997年、東京大学大学院総合文化研究科比較文学比較文化専攻博士課程修了、学術博士(超域文化科学)。

1997年より大阪大学言語文化学部講師、同助教授、東京大学非常勤講師、

国際日本文化研究センター客員助教授などを経て現在。

2002年、『聖母のいない国』(青土社)でサントリー学芸賞受賞。

著書：『八犬伝綺想』(福武書店、1990年)、『夏目漱石を江戸から読む』(中央公論社、1995年)、『男であることの困難』(新曜社、1997年)、『<男の恋>の文学史』(朝日新聞社、1997年)、『間宮林蔵(隠密説)の虚実』(教育出版、1998年)、『もてない男』(筑摩書房、1999年)、『江戸幻想批判』(新曜社、1999年)、『恋愛の超克』(角川書店、2000年)、『片思いの発見』(新潮社、2001年)、『退屈論』(弘文堂、2002年)、『中庸、ときどきラディカル』(筑摩書房、2002年)、『性と愛の日本語講座』(筑摩書房、2003年)、『反=文藝評論』(新曜社、2003年)、『すばらしき愚民社会』(新潮社、2004年)(新潮社[新潮文庫]、2007年)、『評論家入門』(平凡社、2004年)、『恋愛の昭和史』(文藝春秋、2005年)、『なぜ悪人を殺してはいけないのか』(新曜社、2006年)、『谷崎潤一郎伝』(中央公論新社、2006年)、『悲望』(幻冬舎、2007年)、『日本売春史』(新潮社、2007年)、『日本の有名一族』(幻冬舎、2007年)、『リチャード三世は悪人か』(NTT出版ライブラリーレゾナント、2007年)、『リアリズムの擁護—近現代文学論集』(新曜社、2008年)、『童貞放浪記』(幻冬舎、2008年)、『猫を償うに猫をもってせよ』(白水社、2008年)など多数

